

計画の名称

安全・安心で災害に強固な地域の形成に関する計画（復興基本方針関連（全国防災））

計画の期間

平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）

計画の目標

東日本大震災を教訓として、大規模地震や水害、豪雪等からの災害に対する減災化を実施し、住民が安全・安心に暮らせる強固な地域を形成する。

主な事業

- ・（一）栗倉飯富線（早川橋）橋梁整備
- ・国道358号（甲府市）法面防災
- ・国道140号（南アルプス市）橋梁耐震補強・補修
- ・国道300号（身延町）橋梁耐震補強・補修
- ・（主）富士川身延線（南部町、身延町）橋梁耐震補強・補修

この計画に関する問い合わせ先 [山梨県 県土整備部 道路整備課](#)
[山梨県 県土整備部 道路管理課](#)

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称 : 安全・安心で災害に強固な地域の形成に関する計画(復興基本方針関連(全国防災))

事業主体名 : 山梨県・南アルプス市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1)上位計画等と整合が図られている。 (計画名 社会資本整備重点計画)	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合が図られている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合が図られている。	○
3)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性、円滑な事業執行の環境	
1)全体事業費、要素事業の額が適切である。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○